

「知の宮殿」で迷う快感

常識、感覚、理屈に反するものを広義のパラドックスとして本書では扱い、科学との関係を論じていく。幕開けは「アキレスと亀のパラドックス」、誰もが知っている「亀に追いつかない」というあれである。走るコースに幾つかの通過点を設定し、両者の相対的な位置関係を主題にしていることから、この問題を解く鍵は「位置座標を特定し識別する」地面の連続性にあると推理。だったら、その地面を消してしまえ！ 地面を非連続性にすると、見事！ アキレスはたちまちカメを抜き去っていく。

その次は、逆にあまり知らない「ミクロメガスのパラドックス」。大きいもの(メガス)と小さいもの(ミクロ)の対比は相対的なものというところから、自分と自分を取り巻く環境がすべて、一晩にして同じ比率で巨大化したら、我々は気付くかどうかと問いかける。体が重くなつて自重に耐えられないから気付くはず？ ならば物性法則も一緒に変化したら？ 宇宙の膨張にまで話が及び、サイズの感覚が麻痺したところで、さらに自然現象の原因は全体(ミクロ)と部分(ミクロ)のどちらにあるのか、と続く。

測定できるものは実体として存在するのかという「はかる」ことのパラドックス、自然法則の存在は証明できるのかという、帰納法にまつわるパラドックス、境界設定に関するニセ科学のパラドックス…次から次に出てくる逆説について本書のタイトルをひっくり返したくなる、「科学論はパラドックス？」と。だが、読者は頭をひねつてばかりではない。本文中には何度も「話をもとにもどす」という記述が出てくる。(意図的か否か)著者はしばしば脱線をする。そうして随所に科学のエピソードが織り込まれ、飽きることがない。その最たるもの、終盤の「セレンディピティー論」である。

パラドックスの科学論

井山弘幸 著

新曜社



逆説にみちた
科学的思考の現場にせまる

新曜社

定価 2,940 円（税込）

「パラドックスは決して
謬説でも迷妄でもなく
真理の特殊な表現だ」

章立てでは「発見のパラドックス」となっているが、ニュートン、コロンブス、アルキメデスなどの有名人だけでなく、歴史の舞台裏を覗き、科学の大発見をもたらした些細な偶然の物語に、パラドックスのことを忘れて楽しめる。著者が「言いたい放題」と本領發揮の最終章では6つのパラドックスを取り上げ、一味違った観点から再考を試みる。そもそも何故パラドックスが生まれるのか、科学者ならば現実的にどういう対応をするだろうか、従来の学説の「つぎに(met-a-)考えられること」を想像して論じた「メタドックス」的再考である。

本書のパラドックスに手も足も出ない我々は、著者の脱線に頭を休ませつつ、行きつ戻りつ手足をバタバタさせて、いつしか知的快感に酔いしれている。まさに、いつまでもさまよっていたい、そこは「知の迷宮」である。



安心・安全の天然抗菌剤 ウルトラファインシルバー



銀のチカラで
安心、安全に抗菌・防腐



防腐剤フリーで
化粧品の品質向上

販売元
信頼される原料総合商社を目指して！
株式会社 三陽商会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-6-9 アイケイビル
TEL:03-3663-2060 FAX:03-3663-2075
URL:<http://www.k-sanyo.com/>

製造元
UFS リファイン株式会社
UFS リファイン 検索